

香り付きパフレット



選べる

4種の香りの表面麻酔剤



各フレーバーの写真を
こすると香ります！

歯科用表面麻酔剤 劇薬 処方箋医薬品 薬価基準収載

プロネスパスタアロマ

包装:20g

【成分】(100g中) アミノ安息香酸エチル10g、テトラカイン塩酸塩1g、ジブカイン塩酸塩1g、ホモスルファミン2g

●効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等については注意事項等情報を参照してください。

注意-医師等の処方箋により使用すること



日本歯科薬品株式会社

本社 山口県下関市竹崎町4-7-24 〒750-0025 TEL 083-222-2221(代) FAX 083-222-2220

大阪営業所 大阪市中央区道修町2-6-6 〒541-0045 TEL 06-6222-4090(代) FAX 06-6222-3950

東京営業所 東京都台東区柳橋1-23-4 〒111-0052 TEL 03-5822-5350(代) FAX 03-5822-5351

福岡営業所 福岡市南区大橋1-1-17-403 〒815-0033 TEL 092-559-1621(代) FAX 092-559-1622

お問い合わせ・資料請求は お客様窓口 ☎0120-8020-96 [ホームページ] <https://www.nishika.co.jp/>

歯科用表面麻酔剤

プロネスパスタアロマの特長

4種の香りからお選びいただける表面麻酔剤です。



表面麻酔時の不快感をやわらげます。

- フレーバー(香料)が、麻酔薬特有の苦みをマスキングします。
- 適度な粘稠性を有する水溶性ペーストを基剤としているので、液だれの心配がなく、麻酔部位を局限できます。

適度な粘稠性



3種の麻酔薬が配合されています。

- 代表的な表面麻酔薬であるアミノ安息香酸エチル(10%)を主成分とし、さらに麻酔効力と持続性に優れたテトラカイン塩酸塩(1%)およびジブカイン塩酸塩(1%)が配合されています。

抗菌成分ホモスルファミンを配合しています。

- 常に衛生的な状態でご使用いただけます。

歯科用表面麻酔剤 創薬、処方箋医薬品[※]

アミノ安息香酸エチル・テトラカイン塩酸塩・ジブカイン塩酸塩・ホモスルファミン軟膏

プロネスパスタアロマ
PRONES-PASTA AROMA

販 売 名	和名	プロネスパスタアロマ	承認番号	20900AMZ00270000
一 般 名	洋名	PRONES-PASTA AROMA	販売開始	1999年 4月
日本標準商品分類番号	名	アミノ安息香酸エチル、テトラカイン塩酸塩、ジブカイン塩酸塩、ホモスルファミン	貯 法	室温保存
87271			有効期間	3年

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分又は安息香酸エステル系局所麻酔剤に対し、過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 メトヘモグロビン血症のある患者 [症状が悪化するおそれがある。]

3. 組成・性状

3.1 組成

本剤は香料の異なる4種類の製品 (ストロベリーフレーバー、マスカルポーネフレーバー、マンゴーフレーバー、ミントフレーバー) がある。

有効成分	100g中	アミノ安息香酸エチル	10g
		テトラカイン塩酸塩	1g
		ジブカイン塩酸塩	1g
		ホモスルファミン	2g
添加剤	マクロゴール400、マクロゴール4000、プロピレングリコール、パラオキシ安息香酸メチル、サッカリンナトリウム、香料*		

*「ストロベリーフレーバー」、「マスカルポーネフレーバー」はエタノール、「マンゴーフレーバー」はバニリン、ベンジルアルコール、エタノール、「ミントフレーバー」はバニリン、エタノールを含む。

3.2 製剤の性状

性 状	本剤は淡黄色の軟膏様で、わずかに特異なおいがあり、味はやや甘く、舌を麻痺する。
-----	---

4. 効能又は効果

歯科領域における表面麻酔

6. 用法及び用量

適量を局所に塗布する。

8. 重要な基本的注意

- 8.1 まれにショックあるいは中毒症状を起こすことがあるので、局所麻酔剤の使用に際しては、常時、直ちに救急処置のとれる準備が望ましい。
- 8.2 本剤の使用に際し、その副作用を完全に防止する方法はないが、ショックあるいは中毒症状をできるだけ避けるために、以下の点に留意すること。
 - 8.2.1 患者の全身状態の観察を十分に行うこと。
 - 8.2.2 できるだけ必要最小量にとどめること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

患者の全身状態を観察しながら慎重に使用すること。生理機能の低下により、麻酔に対する忍容性が低下していることがある。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 ショック (頻度不明)

血圧降下、顔面蒼白、脈拍の異常、呼吸抑制などの症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

11.1.2 振戦、痙攣 (頻度不明)

振戦、痙攣などの中毒症状があらわれることがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、ジアゼパム又は超短時間作用型バルビツール酸系製剤 (チオペンタールナトリウムなど) の投与などの適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
中枢神経 ^{注1)}	眠気、不安、興奮、霧視、眩暈、悪心・嘔吐等
過敏症	蕁麻疹等の皮膚症状、浮腫等
血液	メトヘモグロビン血症

注1) このような症状があらわれた場合は、ショックあるいは中毒へ移行することがあるので、患者の全身状態の観察を十分に行い、必要に応じて適切な処置を行うこと。

14. 適用上の注意

14.1 薬剤使用後の注意

麻酔発現後は脱脂綿などでふきとり、術後うがいをして本剤を洗去するよう患者を指導すること。

20. 取扱い上の注意

使用後は密栓し、直射日光を避けて保管すること。

22. 包装

20g (チューブ入り) (ストロベリーフレーバー、マスカルポーネフレーバー、マンゴーフレーバー、ミントフレーバーの4種あり)

* その他の注意事項等情報については電子添文を参照してください。

● 販売店名